

＝たかがスリッパ、されどスリッパ＝

このスリッパは衝撃的なデビューを果たした。このスリッパ、今や某中学校の履き尽くし選手権「スリッパダービー」の上位に名を連ねるスリッパである。数ある血統種の中で、口あんぐりスリッパの血統を受け継ぐサラブレットの中のサラブレット。その名を「覇権王」という。ファンからはこれ以上履けんと評判である。



あごの骨の外れようは他の追隨を許さない迫力があり、特に何の用も足さない上顎に関しては芸術的とさえ評価されている。人々は歴史上の偉大な芸術家、ピカソの遺作ではないかと勘違いしたほどである。某先生はこれを見て、「芸術は既知の美を破壊し、新たなる美を創造する」と意味ありげなことを生徒に説いたが、生徒の頭の中は？の文字だけが浮かんだことは容易に想像がつく。

さて、人々は履き心地の悪さに魅了され、極度の上顎反り返りに驚嘆されつつも、「覇権王」の引退がそう遠くはないことをはっきりと理解していた。それが現実のものとなるのは騎手自身の決断に委ねられていた。

ファンの間では「覇権王」についていろんなくわさがささやかれていた。「物を大事に使っているよ」、「お金がもったいないじゃないの」、「いや、物もお金も無駄に使っていると思うよ」。「最近の物は壊れやすいからな」、「物を沢山売るために壊れやすくなっているんだよ」、「大企業が悪い」。「たかがスリッパ、されどスリッパだね」、「いや、たかが700円、されど700円だよ」。「物を失うということはお金を失うということだね」。

人々は寂しさの中、いろんなくわさに翻弄されつつも、早くも次なる「覇権王」の出現を複雑な思いで期待するのであった。